

5枚シナリオ
いつもの人

「ラブホテル初めてなんですか？」

脚本猫柳 ふうゆ

登場人物

浜野涼介（20）ラブホテル初心者。

水谷花奈（20）ラブホテル初心者？

宮田春香（25）ラブホテル従業員。

○ラブホテル・フロント（夜）

腕を組み、ベツタリとくつつきながら

自動ドアを開くのは浜野涼介（20）

と水谷花奈（20）である。

受付には宮田春香（25）。

春香「休憩と宿泊、どちらにされますか？」

浜野、花奈を見る。

花奈「花奈、男の人と来るの初めてだから、

どっちがいいとか分かんない」

浜野「てことは、俺が花奈ちゃんの初めてを」

春香「（遮る）あの一。どちらに？」

浜野「あ、じゃあしゆくは」

花奈「（遮る）休憩にしよ！」

浜野、花奈を見る。

ニコツと浜野に笑顔を向ける花奈。

○同・308号室（夜）

一般的なラブホテルの一室。洋間。

浜野と花奈が入ってくる。

浜野「ホテルなんだから宿泊で良かったんじ

やないの？」

花奈「だって花奈、まだ終電あるし」

浜野「休憩って三十分くらいでしょ？」

花奈「ううん。三時間だよ」

浜野「……（そうなんだ）。お、俺の知っているところとだいぶ違うみたいだなあ！」

ソファーに座る浜野。

花奈、慣れた手付きで自身の上着をク

ローゼットに収納している。

花奈「涼介君も上着」

浜野「あ、ハイ」

浜野、上着を花奈に預ける。

浜野「慣れてるね。いつも来ているみたい」

花奈「そうかな？」

花奈、浜野の隣に座って寄りかかる。

浜野「……」

浜野、チラッと花奈を見るがすぐに目を逸らす。

浜野「き、キスしてもいい？」

花奈「え？」

間。

花奈「シャワー浴びてくるね」

花奈、スマホを机の上に置き、去る。

浜野「（ため息）」

浜野、目の前の机に置かれた冊子を手に取り、適当に開く。

冊子の中には番号の付けられた大人のおもちやたちのリストが並んでいる。

浜野「本当におもちやって置いてあるんだ」

まじまじと見つめる浜野。

浜野「（呟く）高速振動で、絶頂パラダイス」
生唾を飲む浜野。

と、そこに花奈のスマホの着信音。

浜野、驚いて冊子を閉じる。

花奈のスマホ画面には『翔太』と書かれた人物からの着信。

W i F i の三本アンテナが立っている。

浜野「何でワイファイが繋がって……」

× × ×

シャワーから戻ってくる花奈。

浜野「あのさ、花奈ちゃん」

花奈「一緒におもちゃで遊ぼっか」

浜野「おおお、おもちゃ！？」

花奈「互いに緊張を解し合おうよ」

花奈、冊子を手を持ちベッドへ移動。

冊子を開いてフロントに電話をする。

花奈「えっと、九番と三十二番。あと五番も

お願いします。あ、じゃあ六番も追加で」

電話を切る花奈。

浜野「花奈ちゃんって本当はさ」

花奈「意外だったでしょ。花奈、弟がいるか

らね。よく一緒に遊ぶんだ」

浜野「弟と！？」

花奈「一緒にプレイして楽しいのは勿論なん

だけど、振動がくる度にビクツとしちゃう、

あの感覚が狂おしいほど好きなの」

浜野「……お前はトンだ痴女だな！」

花奈「え」

浜野「おもちゃで弟と遊ぶはねーよ、流石に」

花奈「ダメ？」

浜野「つっつか翔太って誰。俺は何番目？」

花奈「翔太はさつき言った私の弟」

浜野「スマホのワイファイも、繋がってるの

見ちゃったんだけど。おかしいでしょ」

花奈「実は女子会で一度来たことがあって」

浜野「おもちゃは？ どうせ毎日、絶頂パラ

ダイスからのラビリンスでゴールインして」

部屋のインターホンが鳴る。

春香の声「おもちゃのお届けにあがりました」

花奈「はいはい」

× × ×

浜野「おもちゃって……テレビゲーム！？」

机の上には任天堂スイッチ。

花奈「これの振動がたまらないんだよねー」

コントローラーを持って笑顔の花奈。

花奈「あ、でもゲームは嫌いなんだっけ？」

浜野「……好きです」

花奈「え。でもさつき」

浜野「……今日は宿泊にしようか」

浜野、コントローラーを握る。(終)